

YOKOHAMA ASAHI ROTARY CLUB WEEKLY



2023-24年度 RI会長／ゴードンR.マッキナリー
RI.D2590ガバナー／樋口 明
横浜旭RC会長／田川 富男



ウクライナ避難民支援



ポリオ撲滅運動
パキスタンにて

国際ロータリー第2590地区

横浜旭ロータリークラブ

事務所 横浜市旭区二俣川1-37-3 NUTS1階／〒241-0821
TEL.045-465-6702／FAX.045-465-6712
http://yokohamaasahirc.cho88.com
Email:asahirc@titan.ocn.ne.jp
例会場 二俣川相鉄ライフ4Fコミュニティサロン
例会日 月3回水曜日／12時30分～1時30分

2023年12月20日 第2529回例会 VOL.55 No.18

- 司会 SAA 北澤 正浩
- 開会点鐘 会長 田川 富男
- 斉唱／手に手つないで

■出席報告

会員数	19名	本日の出席数	13名
本日の出席率	68.42%	修正出席率	84.21%

■本日の欠席者 福村、中谷、二宮、宋、佐藤 (真) 日向

■他クラブ出席者 新川 (地区)

■ゲスト

高城 芳之様 (NPO 法人アクションポート横浜代表理事)

伊藤わかな様 (// 学生スタッフ 早稲田大学2年)

伊澤 玲奈様 (// 学生スタッフ 神奈川大学4年)

■会長報告 田川 富男

前回の移動例会・クリスマス・家族親睦会に多くの方が参加していただきまして、ありがとうございました。市川親睦委員長・親睦委員の皆さんご苦労様でした。また、今回の会に残念ながら仕事や用事で参加する事が出来なかった方々は、次回にて親睦してください。

今回の三遊亭律歌さんによる人情落語の催し物も今までに無い、語り部的な感覚で新鮮でした。また今回は、昔からの友人であり良き理解者である古川なおきさんが私人として親睦会に参加してくれました。職業分類的に正会員として迎えることが出来ないことは残念です。そして兵藤先生の奥様も来られ、古川さんも居て、

何だか、兵藤会員がかぶり物をしてクリスマス会に参加していた気がします。

次回例会は令和6年と新年を迎えます。第一例会日は1月10日となります。新年早々に総会開催を考えておりますが、今後のクラブ発展をさせる為の総会とご理解していただきまして、ご容赦ください。

本日はNPO 法人アクションポート横浜、高城代表よろしく申し上げます。

まだ早いですが、来年も宜しくお願い致します。

■臨時総会資料

◎審議内容

会員身分(特別会員)新設について、審議及び採決承認をお願いします。

◎議案内容

横浜旭ロータリークラブ細則

第10条 会員選挙の方法

第6節 特別会員の追加

第6節 特別会員

(a) クラブは、理事会により推薦された特別会員を選ぶことができる。

(b) 特別会員の資格条件。横浜旭ロータリークラブ定款 第10条 第6節(名誉会員)と同等とする。

◎今回の新設目的

特別会員の制度を設けることにより、横浜旭ロータリークラブの活動にご理解していただける方々を会員になっていただき、よりクラブとの絆を高めるために新設する。

■幹事報告 岡田 隆

▷例会臨時変更のお知らせ

○横浜あざみ RC

1月17日(水)移動→18日(木)第5G合同例会

○新横浜 RC

1月12日(木) 18:30点鐘新年会(田中家)

■職業奉仕委員会 新川 尚

「活動と運動(考えを変えることの勧め)」

次回例会は職業奉仕フォーラムです。地区職業奉仕委員会より桑原 薫様(横浜港北 RC)を講師に迎え卓話を頂きます。

桑原様から事前に目を通しておいて下さいとのことなので、本日プリントをお配りしました、宜しくお願いします。

■ニコニコ BOX

田川 富男 / ① NPO 法人アクションポート横浜 高城代表理事、伊澤、伊藤さん本日の卓話宜しくお願いいたします。②移動例会、クリスマス家族親睦会、市川委員長、親睦委員の皆さんご苦労様でした。

岡田 隆 / NPO 法人アクションポート横浜 高城様、伊澤様、伊藤様、本日の卓話宜しくお願いいたします。

佐藤 利明 / NPO 法人アクションポート横浜、高城芳之様、伊澤玲奈様、伊藤わかな様、ようこそ又卓話宜しく。

安藤 公一 / ①高城様、伊澤様、伊藤様、ようこそ横浜旭 RC にお出で頂きました。卓話宜しくお願いいたします。

②先週土曜日クリスマス会楽しませて頂きありがとうございました。市川さんお疲れ様でした。

新川 尚 / NPO 法人アクションポート横浜、代表理事高城様、伊澤様、伊藤様、本日は宜しくお願いします。

五十嵐 正 / ① NPO 法人アクションポート横浜の皆さんようこそ。卓話楽しみにしております。②先日のクリスマス会では、市川さん、北沢さんご苦労さまでした。楽しかったです。

市川 慎二 / ① NPO 法人アクションポート横浜 高城代表理事、伊澤、伊藤さん本日の卓話宜し

くお願いいたします。②クリスマス会では皆様のおかげで無事に開催することができました。ありがとうございました。

北澤 正浩 / ①クリスマス会、市川さんお疲れ様でした。② NPO 法人アクションポート横浜の皆様、卓話よろしくお願いいたします。

関口 大樹 / ①高城様、伊澤、伊藤さん本日の卓話宜しくお願いいたします。②クリスマス例会、とても楽しかったです。ありがとうございました。

佐藤 勉 / ①クリスマス例会ありがとうございました。②高城様卓話宜しくお願いいたします。

■卓話 / NPO 法人アクションポート横浜、代表理事高城様、伊澤様、伊藤様



市川会員・伊澤様・伊藤様・高城様・田川会長

アクションポート横浜



アクションポート
YOKOHAMA



- 特定非営利活動法人 アクションポート横浜
- 若者とNPOをつないでまちを盛り上げる、様々な活動をしています。
- 2008年横浜市市民活動支援センター運営委員会を中心に設立
- HP: <https://actionport-yokohama.org/>
- 所在地: 横浜市中区山下町94 横浜中華街パキング内

アクションポート横浜

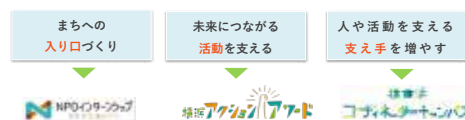


アクションポート
YOKOHAMA

<役割>



<活動>



だけどなかなか増えない活動



①若い世代の**地域への入り口づくり（体験）**が不足している
 社会貢献の意欲は8割近くあるが、活動層は3割程度。潜在的ボランティア層は4-5割（情報がない・きっかけがない）

②若い世代が関わる活動の多くは**継続に課題**を抱えている
 4年で変わっていく大学生。世代交代が難しい。地域での活動も完結型が多く、広域での支援が難しい。

③若い世代の活動を支える**専門的な支援**が不足している
 若い世代を支え、地域をつなぐ仕組みとコーディネーターが不足している。持続可能な運営ができない。

NPOインターンシップ横浜



市内大学と提携し、大学生が地域NPOでインターンシップ



- ・横浜近隣の11大学と提携し、プログラムを授業の単位とすることで、**スペシャルでない学生でも気軽に参加できる**
- ・参加者の**7割以上**が継続して活動。多くのNPOに就職はしないが、**ボランティアや業務付き**として関わる人も多い。（業界の底上げ）
- ・学生が関わることでNPOの活動も活性化し、**意義が強化される**

<2022年度実績>
 参加学生：75名
 受入団体：24団体
 提携大学：11大学
 <実習期間>
 短期：10日間
 長期：6か月

活動の様子



活動現場で体験活動



自己紹介



伊藤わかな

- 2023年4月から学生スタッフ
- 早稲田大学文化構想学部社会構築論系2年
- 生まれた時から横浜市青葉区在住
- Let's dance with YOKOHAMAは6年間隔りました
- 趣味はスポーツチャンバラ



きっかけ



- 1、大学で出会った友達の地元愛
 ⇒私も地元に関わってみたいと思うように
- 2、友達にNPOインターンシップを薦められた
 ⇒NPOインターン 横浜 で検索

偶然見つけたアクションポートに勢いで問い合わせ流れで学生スタッフに！！

1番印象的だった活動

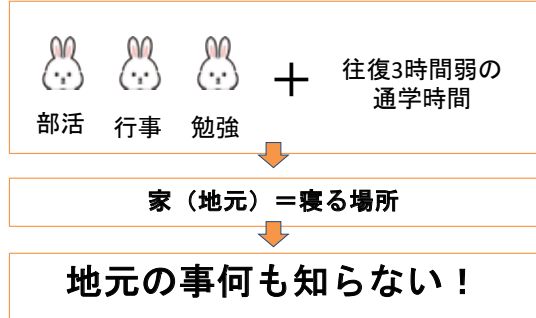


まんまるプレイパーク

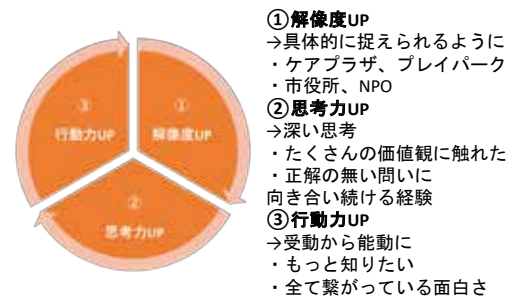


地元はこんなに素敵な場所だった

地元の事何も知らなかった訳



地域と関わり得られた成長



地域に興味はあるけど、
 機会がなくて参加できない学生

もったいない！！

学生と関わりたいと思ってくれている
 地域の大人たち

とある大学の授業にて



子育てなんてしたことないんだから分かる訳ない



子育て＝無料の託児所だ！

子育て支援の現場を見た私

なんか違うのでは？？
 知らないなんてもったいない！



どうやって知ればいいのか、

アクションポ
ートに出会ってな
かったら、

学生スタッフに
なっていたら、

NPOインター
ンシップの存在を
知らなかったら

地域との関わり方



きっかけは
学校初が
多かった

住んでいる場所と
学校の場所が違う
ことも多々

地元と関わる機会になかなか出会えない！

若者×地域の認知度をあげて行かなくては、！！

学生の環境が大きく変化



- 2000年～2004年生まれの大学生
- 大学生になると地域を離れて学校に通うので地域で見つけにくくなる。
- 大学環境の変化：授業の出席重視、就職活動が低学年化
- 生活環境の変化：情報化、趣味多様化、孤独
- 経済的な側面：奨学金利用半数、通学時間の変化
- ボランティアの関心は増加。潜在的関心層5割。
- コロナでサークル参加減、地域型は増えている

学生が「地域の一員」としてなれる機会がまだまだ少ない

若者育てはまちの未来につながる



彼らの多くは社会人・子育て層になる



- ボランティアを通じて人の役にたつ楽しさ・嬉しさに気づく。
- 彼らは企業や行政に入り、地域社会を支えてくれる。
- 働きながらNPOの会員になったり、子育て世代になり、NPOを利用している人も増えている。

若者育てはまちの未来につながる



地域との接点はセーフティネットにつながる



- 6割が大学進学時代。多様な学生が増え、困難を抱える学生も増えている。コロナでの孤立、経済的側面。
- 地域との接点はサードプレイス獲得、信頼交換など将来の多様な選択肢につながる。長期的なセーフティネットである。

彼らの活動を支え、
地域目線を持てる市民を増やしたい！



横浜アクションアワード



若者と地域団体のパートナーシップ事例を広く発信する



若者と地域のNPOや団体がパートナーシップを組んで未来を創る活動を多くの方に知ってもらい、広げていくためアワード。

横浜アクションアワードの概要



2023	横浜市立大学ボランティア団体 one by ONE × 神奈川県立子ども医療センター
2022	サコラボ × NPO法人オールさこんやま
2020	「まち×学生プロジェクト」 神奈川大学ボランティア支援室 × 六角橋自治連合会

横浜アクションアワードの実績



2023年の実績

<二次委員会開催プレゼンテーション>
開催日時：2月25日(土) 13:00-17:00
会場：横浜市民会館1階アトリウム&YouTube配信
参加人数：102人
参加団体：3団体
ドネーション数：22件

大会
横浜市立大学ボランティア団体
one by ONE
×
神奈川県立子ども医療センター

2023年のエントリー団体一覧

拡大
KIRKCAFE学生部
×
目黒区民会館
×
東京へつなげるまもづくり協議会

横浜アクションアワードとは



現状

- 若い世代の参加が少ないと言われているが、地域で活動する若い世代の活動は増えている。(当団体の調査では2023年に50団体ほど)
- 実際、学生が活動を維持していくのは大変で、運営面での課題を多く抱えている(世代交代、マネジメントの課題、認知度、などが挙げられる)

課題

- 活動の認知度が低く、支援者側からもリーチがづらい
- リーダー層が課題や悩みを相談できる場や仲間が少ない
- 若い世代の活動を支える地域の仕組みは決して多くない。

私たちの
思い

- 学生たちの活動の様子や思いを多くの人に知ってもらいたい = 伝える
- 若者同士だからこそ支え合える関係や場を作っていきたい = つながる
- 学生たちを長期的に支えていく関係性や仕組みをつくりたい = 未来を描く